

2021.8.24

Stanford-eKawasaki Online Program Award Ceremony 2020-2021

昨年度の川崎市とスタンフォード大学（アメリカ合衆国）主催オンライン英語学習プログラムにて、本校から2名の最優秀賞受賞者（現在3年生の谷隼弥さんとシランエリックさん）が、8月24日にアメリカと生中継で表彰されました。本来であればスタンフォード大学（カリフォルニア州）に招待され現地で表彰式・発表を行うはずでしたが、昨今の状況により Zoom でのオンライン表彰式兼最終プレゼンテーションとなりました。

場所は校内のいつもの教室になりましたが、広島県代表、鳥取県代表、大分県代表の受賞者の発表もオンライン参観しながら、高校生ならではのエネルギーを感じることでできる時間となりました。今年度本プログラムに参加する現在2年生の生徒たちも同じ教室にて参加し、先輩の発表に圧倒されながらも緊張感を持ち、これから自分たちの取り組みについてイメージを膨らませていたことと思います。

最終プレゼンテーションに至るまでに様々な課題を生徒たちはクリアし、時にはゲストスピーカーの講演を聴き、英語での意見交流を積み重ねて、自分の最終発表テーマの設定をします。自分でテーマ設定したとはいえ大量の英文資料の読み込み、慣れない語句の読解というのは非常に果てしない作業であり、またそれについてイレギュラーな質問があっても即座に対応するという、かなり高レベルな学習が背後にあります。それを乗り越え最優秀賞を受賞した2名の生徒が川崎市代表として選ばれたことは、本当に嬉しいことです。（川崎市ホームページにも掲載される予定です）

本プログラムに参加した生徒はみな「本当にきつかったけど本当に参加して良かった、英語がぐっと自分に近づいてきた」と話しています。今年度の参加者にも是非そのような大きな学びと成長を期待したいです。

I'm so proud of what all participants have been through, but I still wish the two winners could visit Stanford in the US. Although we are still in the middle of fighting against the virus and the new variant, we need to see a brighter side to kick the darkness off. This opportunity can be the one. I'm sure the second graders are motivated a lot. Fingers crossed.

文責 英語科 外山

